

Zoom Up

身近な場所で火災や災害に備える

# 地域を守る消防団員を募集

消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いの下、地域住民で組織されています。火災や災害の発生に備えて訓練し、いざというときは現場に駆け付け、消防職員と連携し活動します。地域のために皆さんの力を生かしてみませんか。

火災や災害は突然発生し、私たちの暮らしを脅かします。そんな時に頼れる最も身近な存在が、地域ごとに組織されている消防団です。しかし、消防団員の数は全国的に減少傾向にあり、ここ10年で7万人も減っています。市内では510人が地域のために活動していますが、団員の確保は急務です。

## 地域を守る責任を持つて

市内では、8分団が組織されています。団員たちは、仕事を持ちながら月に2回程度集まり、訓練や資機材の点検、巡回パトロールなどを実施。管轄

の地区で火災などが起きると、通報を受けて出動し、消防職員と共に消火や救助活動に当たります。第2分団第8部の飛鳥田雄部長（41・金田）は「活動を続けるうちに、団員や住民とのつながりが強くなり、地域を守る責任感も増している」と力を込めます。

## 女性消防団や学生も活動

市内で活動する消防団員は18〜62歳で、女性や学生もいます。2005年に発足した女性消防団には7人が所属。火災を防ぐための啓発や、応急手

## 安心して暮らせるまちに

いざというときに迅速に対応するには、消防職員と消防団との連携強化が欠かせません。消防本部では、合同訓練や研修などを定期的を実施しています。地域を守るために、力を合わせて取り組んでいきましょう。

消防総務課 ☎223-9366



### 消防団の主な活動

- 【一般団員】 消火・救助・水防活動、避難支援、放水訓練、警戒パトロール、資機材点検など
  - 【女性団員】 火災予防などの広報活動、応急手当ての普及・啓発、消防訓練、資機材点検など
  - 【対象・任期】 市内在住在勤在学の18歳以上（1期2年）
  - 【報酬など】 出動手当、公務災害補償、退職報奨金、被服貸与など
- 関心のある方は消防総務課に問い合わせください。  
☎消防総務課 ☎223-9366

### 11月9～15日 秋の火災予防運動

スローガン「お出かけは マスク戸締り 火の用心」乾燥で火災が起きやすい季節です。火災に気を付けましょう。11月9日、7時から試験のためサイレンを鳴らします。☎予防課 ☎223-9371



## いざというときに備えて 普通救命講習会

### 受講者募集

急な心肺停止などの際、周りにいる人の迅速な対応が命を救います。応急手当てやAEDの使い方などを学んでみませんか。

#### ■応急手当普及員再講習会

日時 11月26日 9～12時  
内容 応急手当普及員の有効期限の更新や技能の維持・向上のための講習  
対象 有効期限（3年）内で市内在住在勤在学の応急手当普及員15人  
費用 3960円（テキスト代）

#### ■普通救命講習会

日時 12月2日 9～12時  
内容 応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなど  
対象 市内在住在勤在学の中学生以上15人  
費用 無料

いずれも消防本部。☎11月1～9日に救急救命課へ。抽選。☎

☎救急救命課 ☎223-9365



## 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種情報

情報は10月20日時点

接種券が手元にあり希望する方は予約してください。インフルエンザワクチンと同時接種が可能です。

#### ■オミクロン株対応ワクチン接種

《対象》12歳以上で初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方

#### 《ワクチンの種類》

- 個別接種 ファイザー社製
- 集団接種 ファイザー社製・モデルナ社製

※予約方法や実施医療機関、接種券の発送時期など詳細は市HPに掲載

#### ■5～11歳の1～3回目接種

市内・愛川町の19医療機関で実施

#### ■6カ月～4歳の初回接種

市内・愛川町の16医療機関で実施。3週間後に2回目、8週間後に3回目を接種（1回目は1月15日まで）

#### 《接種券》11月上旬に発送

#### ■12歳以上で初回接種を終えていない方

個別接種で実施中。希望する方は早めに接種してください



オミクロン株対応ワクチン接種



初回接種

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666